

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 15 日

事務事業名		公共施設予約システム整備運営協議会企画事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	010202000266
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	010201
政策体系	総合計画の施策名	0102 市民サービスの向上				主要事業	対象外	企画課	
	政策名	01 市民と行政による豊かな地域の自治づくり				市長マニフェスト	対象外		
	施策名	02 市民サービスの向上				未来PJ事業	対象外	グループ	企画グループ
	基本事業名	02 電子自治体の推進				合併建設計画事業	対象外		
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	02	01	09	01	00	情報管理事業		
法令根拠						単年度繰返し (平成14年度~)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<ul style="list-style-type: none"> 茨城県及び県内27市町村で構成されている「スポーツ施設整備運営協議会」が、共同で広域型スポーツ施設の予約システムを運営していたが、システム改修を機にスポーツ施設以外の施設についても利用出来るようにした。当市もこの協議会に参画しシステムを利用している。今までは、窓口でしか手続きできなかった公共施設の予約や空き情報の確認が、自宅のパソコンや携帯電話から可能とし、利用者の利便性向上を図るとともに、広域連携によるコスト削減と事務の効率化を図る。 		<ul style="list-style-type: none"> 公共施設整備運営協議会総会等への出席 担当課からのシステムについての問い合わせ対応 	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
	施設整備運営協議会への出席数	回	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00
	担当課からシステムについての問い合わせ	件	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
システムを運用する担当課職員	システムを運用する担当課職員数	人	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
公共施設予約事務の効率化	事務の効率化	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入	事業費	財源内訳	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定総投入量
量	事業費	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0
		一般財源	486	242	0	0	0	0
	事業費計 (A)	千円	486	242	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	
	述べ業務時間	時間	10.00	10.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費計 (B)	千円	29	29	0	0	0	
トータルコスト (A)+(B)			千円	515	271	0	0	

事業費の内訳	27年度事業費 実績 (千円)			28年度事業費 予算 (千円)		
	金額	内容	金額	金額	内容	金額
	19	負担金補助及び交付金	242			
		合計	242			
						0

(4) 当該年度の実施内容

28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業		

事務事業名	公共施設予約システム整備運営協議会参画事業	事務事業No.	10202000266	所属課	企画課
-------	-----------------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	e-JAPAN戦略に則って、スポーツ施設のインターネット予約や空き情報検索などを実現させる。システム構築は、共同で構築運営することにより、費用の大幅な圧縮と住民利便性の向上を同時に実現することを目指し平成14年10月にスポーツ施設予約システム整備・運営協議会を設置した。システム改修を機に施設をスポーツ施設に限定しない、公共施設予約システム整備・運営協議会と改名した。
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	桜川市の実情に合っていないため、システムを利用している担当課からは必要がないという意見がある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	協議会からの情報提供により、公共施設予約システムに対する情報を得ることができ安全・安心なシステム環境が図られる。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	公共施設予約システムの資質向上を図るために有効であるが、桜川市の実情にあっていない。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	公共施設予約システムに関する情報の量及び質は十分であるが、桜川市の実情にあっていない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無	公共施設予約システムが使用できなくなってしまい、住民サービスの低下につながるが、現状の利用率を見ると影響はほとんどないと思われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）→	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	具体的な手段、事務事業名
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	県内の自治体で共同で運営しているため経費は安価となっているが、本システムは桜川市の実情に合っていないため、利用率が非常に低く、成果の向上も見込めないため、退会することで事業費を削減することが可能である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	県内27市町村と茨城県が参加しており、施設数で割っている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																					
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民が公共施設を利用するにあたっては、本予約システムよりも利用者会議、窓口での予約が優先されているため、桜川市の実情に全く合っておらず、26年度のシステム利用率は0.1%であった。そのため本システムを使用しているスポーツ振興課と協議し、新システムへ移行となる平成27年10月に退会した。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 （複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> C A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>